

令和7年2月28日

都道府県空手道連盟  
理事長殿

公益財団法人全日本空手道連盟  
専務理事 南澤 徹  
全国中学校空手道連盟  
理事長 竹中 達哉

令和7年度第33回全国中学生空手道選手権大会  
参加資格について

拝啓

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は本連盟の事業活動に格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和6年9月2日付け文書にて、「参加資格および参加制限」についてご連絡しました。今回、「参加資格」についての詳細をご連絡いたします。

ご理解、ご協力をお願いいたします。

敬具

1. 参加資格・・・枠で囲っている部分が、加筆部分です。

(1) 中学校単位もしくはクラブチーム（道場も含む）単位とする。

A都道府県内に拠点のある次の① ② ③のいずれかに所属していなければならない。

① A都道府県内中学校の在校選手

② A都道府県内クラブチーム所属選手

③ A都道府県内道場所属選手。

※② ③で参加する選手は、A都道府県以外の中学校に所属する選手でも参加することが出来る。

※②クラブチーム所属選手には、拠点校方式(※注1)、地域合同部活動(※注2)の選手を含むものとする。

※一人の選手が、上記①から③で、複数の団体に所属する時、同一の団体からの参加のみ認める。(複数団体よりの参加を認めない。)

※複数の都道府県の予選会に参加した選手は、本大会の出場は認めない。

(2) 拠点校方式(※注1)もしくは地域合同部活動(※注2)での出場は認める。

(3) 個人戦と団体戦は同じ都道府県から申し込む。なお、予選会は1つの都道府県にて、学校対抗もしくはクラブチーム(道場も含む)のいずれか一方でしかエントリーはできない。予選会で敗退したチームの選手が、別のチームに移籍して全国大会に出場することは認めない。

※注1・・・拠点校方式とは、在籍校に希望する部活動がない、希望する部活動はあるが専門的に指導できる顧問がない場合に、参加を希望する生徒を一つの学校が受け入れる方式(文部科学省HP)

※注2・・・地域合同部活動とは、自治体が部活動を学校単位から地域単位の取り組みにしたもの

## 2. 全国大会での参加名称

後日連絡いたします。

## 3. 問い合わせ先

都道府県空手道連盟の担当者が、下記にお問い合わせください。  
メールの際には、所属都道府県名、役職名、氏名を明記してください。

全国中学校空手道連盟

事務局長 芥川 佳子(アクタガワ ケイコ)

E-mail : kakutagawa@hi.enjoy.ne.jp